

# パンク修理キット

※本紙は紛失しないように、大切に保管してください。


●プラグは専用プラグです。  
 スペアにはITEM No.6634  
 パンク修理キット(スペア)  
 をお買い求めください。

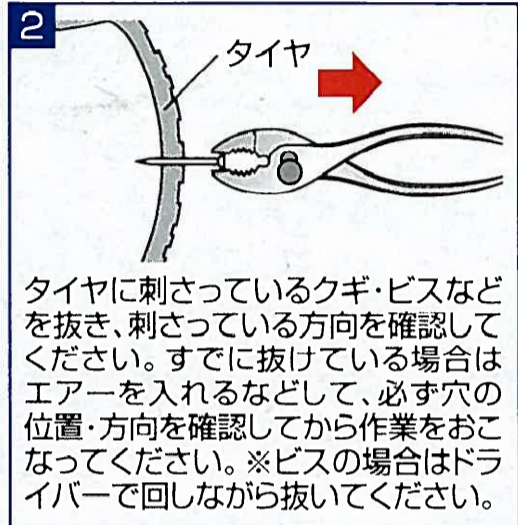
## ご購入される前に

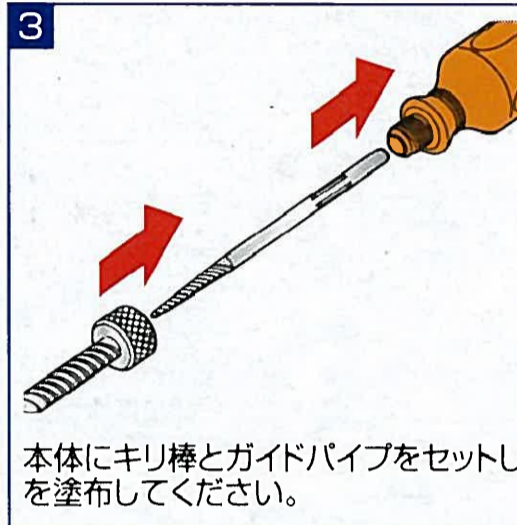
以下の場合には使用できません

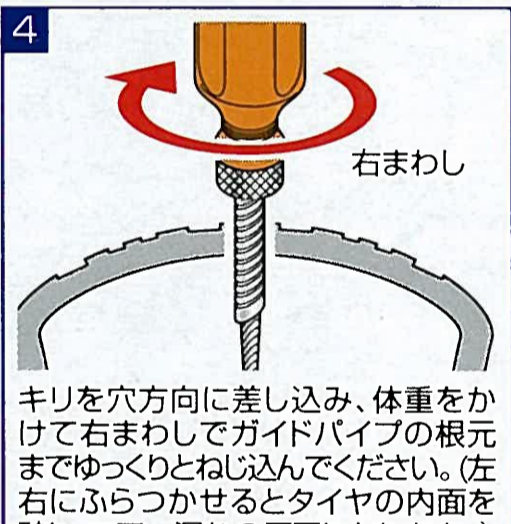
タイヤの種類	●競技用・トラック用のタイヤ●ミニバイクなどのタイヤ●チューブタイヤ
タイヤの状況	●クギ・ビスが長期間刺さっているなど、タイヤの内面が破損している場合●スリップサインが出るなど、摩耗したタイヤ●ヒビ割れなど、老朽化したタイヤ●スチールワイヤーの断絶などで変形したタイヤ
刺さっているものの状態	●クギ・ビスなどが屈折して刺さっている場合●刺さっていたクギ・ビスなどの太さが4mmを超える場合●トレッド面以外(側面)にクギが刺さっている場合●ガラス・金属片などで、裂け傷ができた場合

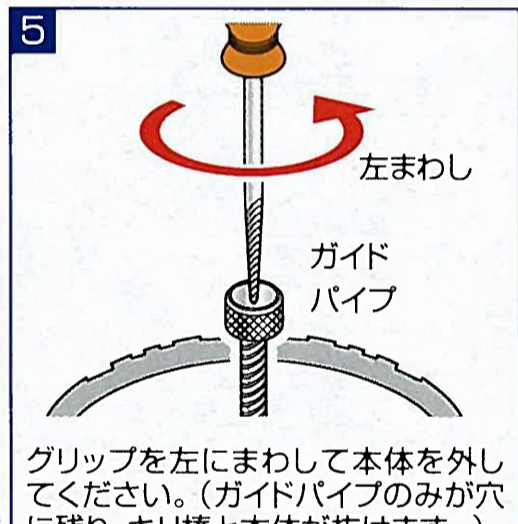
## 使用手順


**1** パンクしたタイヤを車から外してください。

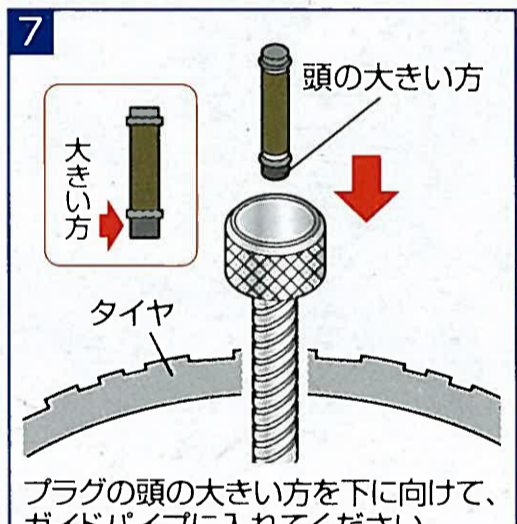
**2** タイヤに刺さっているクギ・ビスなどを抜き、刺さっている方向を確認してください。すでに抜けている場合はエアを入れるなどして、必ず穴の位置・方向を確認してから作業をおこなってください。※ビスの場合はドライバーで回しながら抜いてください。

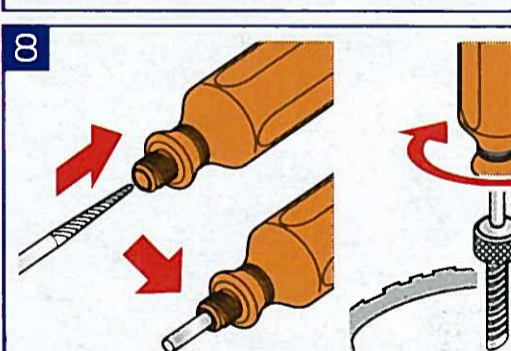
**3** 本体にキリ棒とガイドパイプをセットし、キリ棒・ガイドパイプにラバーセメントを塗布してください。

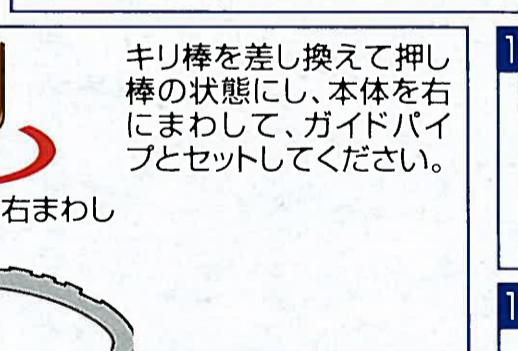
**4** キリを穴方向に差し込み、体重をかけて右まわしでガイドパイプの根元までゆっくりとねじ込んでください。(左右にふらつかせるとタイヤの内面を破り、エア漏れの原因になります。)

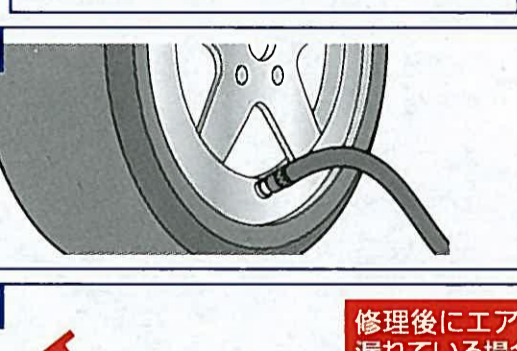
**5** グリップを左にまわして本体を外してください。(ガイドパイプのみが穴に残り、キリ棒と本体が抜けます。)

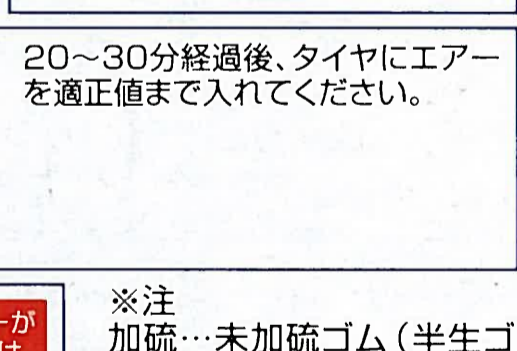
**6** プラグに巻いてあるテープをはがし、ラバーセメントを塗布してください。(茶色の部分に触れると加硫※注 効果が低下し、エア漏れの原因になります。)

**7** プラグの頭の大きい方を下に向けて、ガイドパイプに入れてください。

**8** キリ棒を差し換えて押し棒の状態にし、本体を右にまわして、ガイドパイプとセットしてください。

**9** 本体とガイドパイプがセットできれば、右まわしで徐々に引き抜いてください。(プラグのみがタイヤに残ります。)  
 ! 修理箇所によっては、プラグが10~15mm程度はみ出した状態になりますが問題はありません。


**10** 20~30分経過後、タイヤにエアを適正値まで入れてください。

**11** CUT  
 プラグの周りにラバーセメントを塗布してエア漏れのないことを確認し、タイヤからはみ出したプラグをはさみなどで切り取った後、タイヤを装着してください。

※注 加硫…未加硫ゴム(半生ゴム)が熱などによって硬化し、完全なゴムになることです。本製品の場合は、走行中の発熱によってプラグとタイヤが同化します。

**LOOK!**  
 セット内容・注意事項は台紙の内側に記載しています

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。  
 ※本製品を改造して使用された場合の事故について、当社は一切責任を負いません。



商品に関するお問い合わせはこちらまで  
 (8:30~17:30) 土・日・祝日を除く

amon style  
 オフィシャルwebページ  
 カーライフスタイルをご提案!